

「情報処理学会論文誌：数理モデル化と応用」の 編集にあたって

棟朝 雅晴^{1,a)}

論文誌トランザクション「数理モデル化と応用 (TOM)」では、数理モデル化と問題解決 (MPS) 研究会においてご講演をいただき、その場での議論もふまえつつ、研究会と同時開催の編集委員会で審議の上、査読結果をお伝えしています。

今年度においては 2019 年 6 月に MPS123 を沖縄科学技術大学院大学で、7 月に MPS124 をラスベガスで (国際会議 PDPTA との共催)、9 月に MPS125 を札幌市内で開催し、12 月に MPS126 を電気通信大学で、2020 年 3 月頃に MPS127 の開催を予定しております。

詳細は研究会の HP に掲載しておりますので、ぜひ、多数のご参加をお待ちしています。

今号では、2019 年 8 月までに採録と判定されたオリジナル論文 9 編を収録しています。担当編集委員は、吉川大弘、松田 健、大久保好章、高田雅美、庄野 逸、榎原博之、石崎 俊 (敬称略) となっています。

TOM に掲載される論文はコンピュータサイエンスの境界領域を含む非常に広範囲なものになっています。そのため広い分野に対応できるように多くの編集委員を必要としています。これまで慢性的に編集委員が不足している状態です。TOM では編集委員を常時募集していますので、自薦・他薦を問わず興味のある方はぜひご一報ください。

本論文誌の配布はオンライン版のみとなっています。また、研究会開催記録、研究会登録案内、投稿案内などに関する最新の情報はすべて WWW ページ上に掲載しております。すべての情報は研究会ウェブページ (<http://www.ipsj.or.jp/sigmps>) よりたどることができますので、MPS 研究会および論文誌 TOM に関しては、そちらをご参照くださいますよう、お願い申し上げます。

¹ 北海道大学
Hokkaido University, Sapporo, Hokkaido 060-0811, Japan

a) munetomo@iic.hokudai.ac.jp